



# にこにこ通信第161号

2008/8/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

## 一 選手交代

今、テレビでは4年に一度開催されているオリンピックの話題でもちきりです。中国・北京からは、毎日に日本人選手の活躍が伝えられ日本人に夢と感動を与えています。

今年の盆休みは、13日〜17日、天候の不順もあり、私は外出を控え、名古屋へ嫁いだ長女一家の相手と、オリンピックテレビ観戦をしながらの飲酒に明け暮れました。平素、見逃していた朝ドラの「瞳」も土曜日に一週間分「かため見」しました。ドラマ中の鯉節店は世代交代しました。

本通信第154号でもお知らせしました通り、(有)沖商店も先日、社長職を長男「昌幸」と交代しました。

明治38年に祖父「磯次郎」によって創業され、父「幸林」叔父「外夫」兄「伊三」私「昌弘」へと時代の波に翻弄され形態を変えながら今日まで何とか継続されて来た家業は今、息子「昌幸」

にバトンタッチされました。

ご承知のとおり、今日の日本経済は後進国からの追い上げや原油高により、国内で働く人々は一部の優秀企業を除いてほとんどワーキングプア、先行き大不安、まさに沖商店の行く末そのものです。そんな中で息子に家業を継がせるのは、父親として誠に忍びないものがありますが、今日まで、整理・倒産を重ねながらも守り続けて来た、沖家の「家業継続への執念・粘り・強かな精神」を受け継ぎ、それを糧に、息子が人生の本来の目的【「人格向上と最高の人格(如来・仏・神・天)への到達」】に一步でも近づくことを期待しています。ちなみに私どもの経営理念は「仕事を通じて己を磨く」です。

顧みれば、昭和35年春高校を卒業。即、家業の沖商店に入社。以来今日まで、48年間、私の一生はまさに沖商店の家業そのものでした。

と申しましたが、私は急に辞めるわけではありません。3年前、パソコン関係の会社に勤めていた息子が、突然Uターンして来ました。沖商店の現状、将来性を説明した上で後継の意志を確認しました。彼は彼の妻とともに短期間で仕事内容を理解しました。今では、資金繰り以外凡て彼に任せています。

この後は、一刻も早く金銭面も任せ、私は「取締役会長」として、ボケ防止と健康維持のため、ゴルフや旅行を楽しみながら、無理のない程度で彼を手伝って、一生現役の余生を送りたいと思っています。ですから健康な間は引退しませんので今後ともよろしくお願ひいたします。

## 「富山方言番付」

東の前頭「あっさりする」

意味「ほっと一安心する」

「息子、社長にしてあっさりした」

「息子を社長にして一安心しました」

「娘に婿はん決まってあっさりした」

「娘に婿が決まり一安心しました」

「つんからつぎ、問題おこって、なかなかあっさりせんのか」

「次から次に問題が出てきて、なかなか一安心させないですね」

西の前頭「ありがたーなる」

意味「眠くなる」

「へんま食べたらんがあんがたーなってきた」

「昼飯食べたらん眠くなってきた」

「あんま酒飲んだらんがあんがたーなってきた」

「あんまりたくさんお酒を飲むと眠くなりますよ」

## 次回は

東の前頭「しまいけ」

西の前頭「うちや」